

猶予開始日以降の日付は不可

記入例

償還猶予申出書

〇年6月1日

一般財団法人秋田県教育関係職員互助会理事長 様

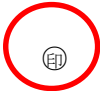
所属所コード 9 8 7 6 5

所属所名 〇〇小学校

申出人

会員番号 8 8 8 8 8

氏名 育児休子



一般財団法人秋田県教育関係職員互助会貸付規程に基づいて、償還の猶予を希望しますので、下記により申し出ます。

記

①	申出事由	①. 育児休業 2. 介護休暇 3. 疾病による無給休職 4. 住宅等の被災				
②	猶予期間	〇年6月10日から 〇年3月31日まで				
③	貸付種別	①. 生活資金 2. 住宅資金 3. 奨学資金 4. 目的別資金 ⑤. 自動車資金				
④	1か月の償還金	合計	43,409 円	⑤	償還金 猶予総額	434,090 円
⑥	返済方法	毎月均等額で返済する (〇年4月から 〇年1月まで)				
		返済の特別扱い	返済		④の金額×猶予期間月数	
			1. 一回	返済		始期：猶予期間終了日の翌月
		2. 二回	返済	終期：猶予期間分の償還が終わるまで		
		(返済予定月 第1回 年 月)		由		
		第2回 年 月)				
⑦	上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。					
	〇年6月1日					
	所属所名 〇〇中学校				職印	
	所属所長氏名 校長 教育太郎					

- 注意 (1) ①③⑥は、該当する番号を○で囲むこと。
(2) ②欄は、申出事由により次の期間を記入すること。
1. 育児休業 育児休業期間の範囲内で猶予を希望する期間
2. 介護休暇 介護休暇期間の範囲内で猶予を希望する期間
3. 疾病による無給休職 疾病による無給休職の範囲内(傷病手当金等の支給を受けた期間を除く)で猶予を希望する期間
(3) ④欄は、現在貸付を受けている償還金の合計額を記入すること。
(4) ⑤欄は、④欄の合計に②欄の猶予回数を乗じた額を記入すること。
(5) 辞令の写しを添付すること。(住宅等の被災以外)
(6) 住宅等の被災の場合は、罹災証明書の写しを添付すること。